

小山田中部地区まちビジョン準備会_まちビジョン交流会

概要

日時 2022年11月6日（日）午後4時～午後5時

場所 町田市バイオエネルギーセンター

参加者

参加者	21名
準備会	会長
	町田市地区街づくり課 2名
	街づくりアドバイザー 1名

内容

1・開会の挨拶

小山田中部地区まちビジョン準備会会長より挨拶が行われた。

2・まちビジョンの制度の説明

市よりまちビジョンの制度の説明が行われた。

3・検討状況の報告

アドバイザーより資料の説明が行われた。

4・質疑応答、意見交換

(主な意見)

- ・策定の経緯について、今後地域住民の生活を持続可能なものにしていくことが難しいという危機意識について記載してほしい。小山田新駅周辺について考えることからスタートしたという経緯も記載できるとよい。
- ・ビジョンの目標について、都市基盤の整備はこのビジョンの前提として認識してほしい。「～行われる場合は」という表現は修正できるとよい。都市基盤の整備についても具体的に記載してほしい。
- ・具体的な活動について、地域住民の目線で記載してほしい。都市基盤の整備についても、地域住民ができることを考えて追加してほしい。活動エリアのイメージ図について、道路もプロットしてほしい。
- ・方針はこれから検討すると思うが、「利便性向上」「地域住民、来訪者の安心」「自然環境を楽しむこと」「人と人との交流」はキーワードになると感じている。

- ・地域住民ファーストのまちビジョンであってほしい。
 - ・都市基盤の整備はこの地域の将来を考えた時に重要な点である。地域住民が協力できることをまちビジョンに記載できるとよい。
 - ・都市基盤の整備は実際に進むのか。
- （市）市の別の計画で推進していく。まちビジョンは市民主体のまちづくりを応援するものであり、市と協働で、都市基盤の整備とも連動したまちビジョンの実現を目指していきたい。まちビジョンに記載できる内容や書き方は今後準備会で検討していきたい。
- ・里山は人が住み、自然環境を関わりあいが継続することが重要である。地域住民にとって夢のあるビジョンで、かつ、実際に住み続けることができるまちを目指していくものとしてほしい。
 - ・今後の日本全体の人口減少も見据えたビジョンを考えていけるとよい。

